

労働災害防止計画（抄）

4 労働災害防止を推進する上での課題

（2）労働者の健康確保をめぐる課題

ア 職業性疾病の発生状況

騒音障害及び振動障害については、建設業を中心として労災認定者数が、それぞれ年間 500 人、700 人を上回っている。また、騒音障害に関連する健康診断項目については、その有所見率も高い。

6 労働者の健康確保対策

（1）職業性疾病予防対策

騒音障害及び振動障害の減少を図るため、騒音障害防止対策及び振動障害防止対策の実効性が確保されるよう見直しを検討し、必要な措置を講じる。

また、さく岩機、ピックハンマー等建設作業用の機器により騒音障害、振動障害が多発している現状に鑑み、機器を使用する事業者が機器の購入に際し低騒音・低振動のものを選択しやすくするため、騒音・振動発生機器について製造者による騒音・振動レベルの表示の導入を図る。

さらに、機械の包括的な安全基準に基づく措置の一環として、騒音・振動発生機器の製造事業者等に対して騒音、振動等の有害要因に係るリスク低減措置の実施、情報の提供等の徹底を図る。